



2005年秋季号(通巻63号)

発行:財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニューズレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

☎0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

■ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

■メールアドレス tia@yui.or.jp

“思い出の一枚”
ワールドショット



シベリア鉄道の旅

東曙町 芳賀かず枝

私は「世界の色々な国を見て歩く旅」の主旨にひかれW・ウオッチングサークルに入り初めて参加しました。3泊4日の日程の内、往復を車中泊は少し辛いな—と思いましたが、何事も経験する気持ちになりました。

ハバロフスクでシベリア慰霊平和公園、郷土史博物館、アムール川クルーズ、開拓者ムラビョフの史跡めぐり、ウラジオストックで驚の展望台、ロシア正教会、中央広場などの視察と見学、そして今回訪問の目的でもあるロシア民族アンサンブル「ベリョースカ」の豊川公演に先駆けて、現地で早朝からお出迎えを受けました。写真のように大きなパンをちぎってくださる特別なお客に對

る、最高の儀式で大感激でした。その後車掌さんの私たちに対するあつかが変わりました。夕食時は歌と踊りこちらからプレゼントを渡し素敵な交流会でした。その後駅まで見送っていただきお別れしました。百貨店や市場では買い物を充分に楽しみました。旅の最後の日、空港へ向う途中太平洋戦争で大勢の方々が亡くなった日本人墓地を参拝し、献花できたことは良かったと思います。

それではシベリア鉄道往復車中でのわたしの体験になります。列車に乗車後急にお腹の調子が悪くなり、通路で窓外の景色を見ながら気分転換をしますが好転せず、胃薬をもらって飲み早々にベッドに就きました。翌日の降車時トランクが突然開かなくなり、とうとう帰国するまで開けることができませんでした。同室になったKさん、薬を持っていたMさん、ありがとうございました。

海外旅行には胃薬とトランクの番号の控えが必要だと反省し仲間達のやさしい心遣いを感じた旅行でした。

今後もうできる限り参加したいと思います。



愛・地球博 大成功の内に閉幕

2005年日本国際博覧会、愛・地球博は去る9月25日、185日間の会期を無事終えて、閉幕しました。協会も豊川市をサポートするために、大勢の人に参加をお願いし、その目的を果たすことができました。皆さんありがとうございました。

市はフレンドシップ国として、フィリピンとペルーを応援することでスタートしました。しかし、開幕当初はペルーの属するアンデス共同館が開館できず、やきもきしましたが、終ってみれば万々歳で、何とフレンドシップ国2国は賞まで受けてしまい、パートナー市としては鼻が高く、嬉しい限りでした。入場者は予定の1500万人を大きくオーバーして、何と2200万人に達しました。「自然の叡智」をモットーに開催されたこの万博でしたが、その理念を見事に追求しての成功に、博覧会国際事務局からも大きな賛辞を贈られました。

協会としては、これを機会に更に一層両国との交流を促進して、関係を深めたいものです。

フレンドシップ両国の受賞の紹介

●フィリピン共和国

愛・地球博第1回「自然の叡智賞」カテゴリーC（小規模館）.....金賞

●アンデス共同館（ペルー共和国）

愛・地球博第2回「自然の叡智賞」カテゴリーD（共同館）.....金賞

●ペルー共和国

ペルー映画「TINKUY（出会い）」

（監督...ジュディス・ベルズ、

カメラマン...ホアン・デュラン）

フレンドシップ・フィルム・フェスティバル
.....金賞

フィリピンナショナルデーが開催されました



フィリピンナショナルデーの舞台。
「Mabuhay」は「ようこそ」の意味。

フィリピンのナショナルデーは閉幕の少し前、9月20日、長久手会場万博ドームで開催

されました。市からは総勢560人が参加して、催事を盛り立てました。挨拶に立ったジョセフ・エース・ドウラノ観光相は「最高に盛り上がった最終週にナショナルデーが開催できて光栄だ。来年は両国国交50周年に当たるので、多くの人に訪問して欲しい」と話されました。舞台では大勢の青年によるフィリピンを表現したダンスが披露されました。



Tシャツの白、青、赤は座った位置と共に国旗を表現している。

ペルーナショナルデーは7月28日でした



ペルーナショナルデーの舞台

ペルーのナショナルデーは閉会から約2か月前、7月28日、万博ホールで開催されました。市から280人余が参加しましたが、会場

が狭く全員は入られませんでした。ルイス・マキャベロ駐日大使らの挨拶があり、マヌエル・ミランダさんが率いる楽団の演奏会が開催されました。アンデス共同館内の舞台では、市内在住のペルーの小学生がダンスを披露しました。



楽団演奏は好評でした。

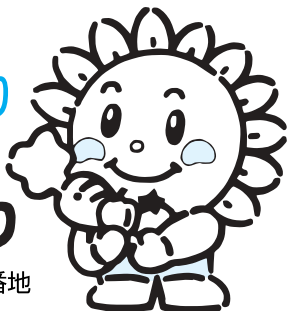
あなたの 身近に
「ベストな ひまわり」

ひと・夢・いいね。



JAひまわり

〒442-8517 豊川市諏訪1丁目1番地
☎(0533)85-3171

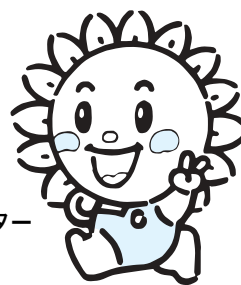


夢の旅へ
出かけよう!!

旅行のお問い合わせ・お申し込みは

JAひまわり 旅行センター

プリオ4F ☎(0533)89-3055
営業時間/AM10:00~PM7:30



上海市で開催されます。

「TINKUY」 - 「愛・地球博」私の出会い - ペルーのジュディス・ヴェルズ監督を受け入れて

前ページで紹介の受賞したペルー映画「TINKUY」は、監督が3人のお宅へ順にホームステイし、連日制作に励みました。第3週目（8月5日～13日）を担当した笠原さんに交流の様子を書いてもらいました。

牛久保町 笠原 栗

フレンドシップ・フィルム・フェスティバルでグランプリこそ逃したものの、見事金賞を獲得した彼女の作品のタイトル「TINKUY」とは、単に人と人との出会いだけでなく、古いものと新しいもの、異文化、異なった世代との出会いなどを意味するそうです。完成した作品を観て、私はより深くこの「TINKUY」の意味を理解することができました。作品の構成は、この「TINKUY」の精神に貫かれており、とても芸術性の高い作品に仕上がっていたからです。私は映写会で彼女の作品を観て、入賞を確信していましたが、受賞報告を受けた時は、すぐメールを送り喜びを分かち合いました。

さて、彼女を我が家で受け入れることになったのも「TINKUY」の神様のお導きでしょうか？ペルーとフィリピンが豊川市のフレンドシップ国となり、昨年10月協会が実施したペルー親善旅行に早速応募して憧れの土地に立つことができました。異文化に触れ、活躍されている移民二世、三世の方々との貴重な交流の機会もあり、有意義な旅でした。その後の料理教室などにも関わり、私にとってペルーがグリーンと身近な国の一つとなったのです。

我が家にやってきたジュディスさんは初日から、連日深夜まで編集に携わりました。毎晩御飯はすっかり冷めてしまい、お喋りの時間もままなりません。とにかく帰国寸前まで編集に没頭でした。それでも遅い夕食時にいろんな話をしますが、1時も過ぎるとお互い明日の

仕事の事を考えて「もう寝ましょう」。とにかくその夕方には驚きでした。

聞いてみるとなるほどと納得です。何でもインド哲学と中国の陰陽説を学び、カンフーと太極拳（動と静の組み合わせがよいのだそう）をやり、インドの呼吸法を日々実践しているとか。私にも教えてくれると言いがらかないませんでした。

朝食はとても日本食を喜んで食べてくれました。これにも納得できる裏付けがありました。4年間ベジタリアンを体験したそうです。そこで日本食がとてもヘルシーなことに強い関心を抱いていました。毎日の朝食は当然日本食。それもショウガ、シソ、ミョウガ等、薬味がお気に入りでした。

また、他方宗教にも造詣の深いことを知りました。神道、道教（最初、何のことが判らなかった）、禅も学んだそうです。浮世絵にも詳しく、財賀寺や豊川稲荷を訪れることができたこと、国府のお祭りを取材できたことを大変喜んでいました。最後に彼女は、せめて京都だけでも行ってみたいと言って、懸命に時間を調整しましたが、それもかなわず帰国の途についたのです。

彼女の芸術家としての仕事への情熱、エネルギーには、そばにいる人間としてただただ頑張れと声援を送るのみでした。久々に大人の出会いを体験し、国、民族、宗教を超えて一人の人間として感動を共有できる真の友を得た喜びを味わえました。この写真を見て、彼女は「お姉さんと妹みたい」と。地球の裏側で今日も走り回っているであろうペルーの妹に心からの声援を送りたいと思います。



ジュディス監督（左）と筆者



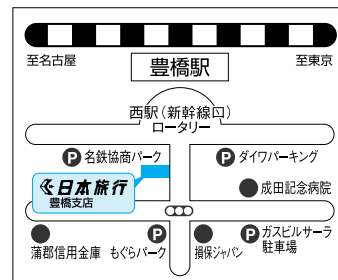
モリゾーとキッコロは9月25日海上（かいしよ）の森へ帰っていきました。

日本旅行 豊橋支店

国土交通大臣登録旅行業 第2号/JATA(社)日本旅行業協会正会員
ボンド保証会員/旅行業公正取引協議会会員

〒441-8013 豊橋市花田町一番地180
TEL 0532-33-7910
FAX 0532-33-7929

受付時間/平日 10:00～18:00
定休日/土曜・日曜・祝日



◎駐車場案内/まちなかパーキング(共通駐車場券)
ご旅行お申込み・お買上げのお客様に限らせていただきます。
市JR券、航空券、バス等の交通券のみのお買上げは除かせて頂きます。

中学生体験ツアー inマレーシア2005 No.1

協会設立15周年記念事業として、中学生体験ツアー inマレーシア2005年を行ないました。この事業の目的は、JICAの青年招へい事業により以前から交流のあるマレーシアに中学生を派遣し、地元の学生との交流活動、ホームステイなどの体験を通じ、国際的視野を広め次世代を担うにふさわしい国際人の育成を図ることにあります。今年は夏休み期間中の8月17日(水)から8月25日(木)までの9日間の派遣でした。

行 程

8月17日

中部国際空港からクアantan空港へ
パマジャ主催の歓迎会の後、ホテル泊

8月18日

クアantan市内見学
ムハザムシャ市民館にて歓迎パーティー
この日から21日までホームステイ



女性はこの服装でモスクを訪れました。



パハン州観光大臣ダトさんと記念撮影。

8月19日

ムハザムシャ市内学校訪問
農園・伝統製品センター見学、原住民の村訪問

8月20、21日

終日ホストファミリーの計画

8月22日

マラッカへ移動し、市内観光、以降はホテル泊

8月23日

市内観光、ショッピング等

8月24日

クアラルンプール市内観光
ブトラジャヤ市内見学、開発公社訪問
さよならパーティー、終了証書授与

8月25日

中部国際空港着、勤労福祉会館にて解散

中学生体験ツアー inマレーシアを終えて

使節団長 丸山正克

マレーシアで4泊5日のホームステイをしてきました。大歓迎に圧倒されそうでした。マレー人の温かい心を、子どもと共に実感してきました。場所は、パハン州ムハザムシャという、普通の地図では、おそらく見つけることはできないような小さな町。今マレーシアでは国家改革を遂行中だそうで、各国に学ぶこと、地の利を生かした産業を開発することが、活動の中心らしいと感じました。ここは、パームオイルの生産の中心らしいのです。20年くらい前、ジャングルを切り開き、ヤシ・プランテーション開発が始まったそうで、「ヤシ林」の規模は、大きいところでは豊川市くらいあるとのことでした。その開発の中心がムハザムシャらしいのです。一度も労働者の姿を見ることはありませんでしたが、多くのインドネシア人が働いているそうです。

そんな町でのホームステイでしたが、参加した中学生のほとんどが次のような感想を寄せています。

1. 4泊のホームステイでは短かった。
2. 言葉は通じなくても、親切に接してくれたことに感動した。
3. ぜひ、もう1度、同じ所にホームステイしたい。
4. 来年もこのプログラムが実践されたいぜひ参加したい。
5. 友だちに参加をすすめて、心温まる交流を体験させてあげたい。

残念ながら言葉が通じなかったので勉強したい、という反省は出てきませんでした。しかし、体当たりのコミュニケーションの成功が「やればできる」という自信になったのでしょうか。

行政書士小柳津えみ事務所

DESPACHANTE CREDENCIADA

入管手続・帰化申請・内容証明
遺言書・相続手続・各種許認可申請

豊川市御油町栗木山152番地
TEL 0533-80-1801
FAX 0533-80-1802
E-mail emi@fb3.sonet.ne.jp

世界の旅

国内の旅



パッケージツアー
航空券・海外ウエディング
旅館・ホテル・観光バス
個人から団体まで
かわしんグループ
ジェイティービー代理店



豊伸トラベルサービス(株)

営業時間 土・日も営業 豊川市諏訪3丁目302(プリオⅡ1階)
AM10:00~PM8:00 ☎ 0120-857716
ナナイロ (0533) 89-7716 FAX 89-8233



さくら祭りに参加して

キュパティーノ市訪問記(その2)



キュパティーノ・サークル 今泉徳好

62号からの続き

●初日は

桜祭りの初日も曇天でした。館内は早朝から支度をしたとみえて、昨日はできていなかったところがすっかり完成しています。

祭事の見物意外に外のブースでの買い物やフードコートでの食べ歩きがあります。広い公園の随所にテント製のブースがあり、色々な物を売ったり見せているのです。いったいブースでは何が売られているのかな。民族衣装・蠟細工・ナッツ・アクセサリー・フルーツ・絵画・盆栽など。フードコートの食べ物は餅・お好み焼き・アンパン・うどん・照焼き・焼き鳥・チキンサラダ・日本ビールなど。

●二日目は

24日の日曜日は正午から、キュパティーノ市から豊川へ行く中学生使節団のメンバーの紹介がありました。その後で私たち4人の紹介がありました。二日共一時傘こそいらないが、少し雨があって残念でした。

夕5時にて閉会しました。早速撤収です。やったことの反対をもっぱら繰り返しました。皆さん疲れているので本当に黙々と...

●内容は

では、注目の内容についてです。

クインランセンターの展示物は以下のようです。

盆栽・鉢巻プリント(子供たちが布の鉢巻へ絵をプリ



◀フードコート。姉妹都市委員会のブースその他



公園内のブース色々▶

ントして楽しむ)生け花・日本刺繍・書道・水石・水墨画・手毬・和紙人形・折り紙・真多呂人形。舞台上で披露されたものは琴演奏・紙芝居・太鼓と尺八のコラボレーション・お手前・フラダンスです。

野外舞台上で演じられた物は以下のようです。

鈴木メソッドバイオリン教室演奏会・剣道・太鼓演奏・日本舞踊・空手演舞・沖縄踊り・柔道・合気道・なぎなた演舞などと日本では馴染みの少ないものまで、とにかく日本一色です。何と柴犬、秋田犬の同好会や、鯉飼育愛好会もブースを作って出店しているではありませんか。



◀鈴木バイオリンメソッドの発表会



▲太鼓の演奏

書道のパフォーマン

●交流について

サークルではアランさんを中心に今までの交流についてできるだけ多くの資料を集めようとしています。しかし、時がたつと消えていく物もあります。キュパティーノ市側には紙の資料はなくても映像は沢山残っているとも聞き、連絡を密にして収集しようと思います。

●結び

何と岐阜県の広報印刷物が生け花のコーナーに机を設けて置いてあるのを発見しました。できれば我が豊川市も何らかの目に見える接触を考えたいものです。

物見遊山でなく、イベントを手伝うことで一体感を共有できたことはこの上ない収穫でした。行政とあいまって、交流の根を益々深く、広くしていけたらと心から感じた次第です。

(おわり)

NECワープロ・パソコン専門店
文具・事務用品・紙製品
スチール家具・OA機器



有限会社 **するが屋**

豊川市光明町2-7

☎(0533)86-2509 FAX(0533)86-2299

村松書店

〒442-0041 豊川市旭町62番地

TEL (0533) 86-3810

FAX (0533) 86-2682

E-mail add.

mbooks@amitaj.or.jp



他校の生徒と仲良しになり新しい友だちができました。

部会とサークル活動の

ホーム・ビジット2005

ホームステイ部会

今年は、豊橋技術科学大学と愛知大学の留学生に呼び掛けて、8月6日（土）から9月4日（日）までの期間中にカンボジア、インドネシア、ベトナム、バングラデシュ、フィリピン、エジプト、タイ、マレーシアの8カ国から12組33人を受け入れました。ホーム・ビジットは、もう6年目になり、内容も充実してきました。

留学生は、自国で大学を卒業した後、また一度就職した後、さらに勉学のため留学するケースが多く、中には家族を伴って留学している人もいます。ホーム・ビジットの会では、家族同伴の訪問も受け付けています。

留学生と一緒に買い物に行ったり、食事をしたりして、新しい人間関係が生まれることや、留学生が日本の普段の生活の一部を目にすることで、自国との違いや日本を認識する機会となり、相互理解と友情が築かれていきます。

今後も、大学側に協力をお願いしながら、新しい学生をお迎えしたいと思います。



御油祭りの日にカンボジアの留学生を引き受けました。



2家庭合同で実施したらとてもにぎやかでした。

キッズワールド サマースクール

キッズワールド サークル

今年のサマースクールは、夏休みを目前にした7月18日（月・祝）学童農園「山びこの丘」で開催しました。

参加者は、小学校4年から6年までの子ども42人、中国、フィリピン、カナダ、アメリカ、ペルー、ボリビアの外国人講師7人、スタッフ19人の計68人でした。

山びこの丘では、小川でのにじますつかみ取り、すいか割り、体験農場でとうもろこしもぎ取りなど身体を使ってみんな元気に楽しく過ごしました。

外国人講師への質問コーナーでは、子どもたちが外国に興味を持って、外国の食生活や子どもの遊び、日本の印象などを聞いたりして、外国を身近に感じとることができたようでした。帰りには、お土産に自分でもぎ取ったとうもろこしが2本付きました。



「うまく割れるかな」スイカ割り好評でした。

今回のサマースクールの成果は、自然に囲まれた好環境の下で、子どもたちの外国への関心を高め、また、他校の生徒と仲良しになり、新しい友達ができただけです。

「来年も、この山びこの丘でサマースクールを開催してほしい」と多くの参加者が語っていました。

子どもの国際的感覚を育てる活動は、今後とも継続して実施していきたいと思っています。



良質生活アピタ
アピタ豊川店

豊川市開発ビル株式会社
豊川市諏訪3丁目133番地
TEL(0533)89・3000



近況をお知らせします

カメラリポート 7月～9月



流ちょうな日本語は参加者を魅了しました。

お月見交流会

フレンドシップ部会

日本では雪月花といって、月は古くから歌や詩に詠まれ、心に潤いを与えてくれます。今年は、日本文化紹介サークルとポルトガル語サークルの協力を得て、9月25日(日)の夜、ブラジルとバングラデシュの外国人4人を含む28人の参加者により、三河の名刹大寶山西明寺で開催しました。すすき、月見だんごなどを供え、十五夜の雰囲気を感じました。



住職様を囲んで秋の夜のひとときを過ごしました。

住職様の「スリランカの津波災害復旧状況について」の講話は、大変興味深いものでありました。世界各国から援助の手が差し伸べられていますが、日本の活躍が際立っていて特に道路の復旧工事はスリランカ政府から感謝されているとのことでした。



西明寺庭園を背景に一句詠みました「名月や...」?

懇親会は、一品持ち寄り料理のほか、お寺が用意してくれた炊き込みご飯、スリランカのパパダム(塩せんべいに類似)などバラエティに富んだ料理を賞味しました。お月様に供えただんごをいただいて、別れを惜しみながら帰途に就きました。

文化講座「ベトナムってどんな国」

世界の歩き方サークル

9月10日(土)午後2時から勤労福祉会館視聴覚室で開催しました。講師は第36代なごや民間大使ウォン・ファン・チャンさんで、参加者は38人でした。民族衣装アオザイで有名なベトナムの衣文化をはじめ、人々の日常生活、風習等を分かりやすく紹介してくれました。

ベトナム人は、にがりやモロヘイヤ、せんぶりなど身体に良いものを日ごろから食べていて、薬を服用する習慣はないとのことでした。ブレイクタイムでは、ハス茶と揚げバナナを試食しました。

マレーシア文化グループが来豊

マレーシアサークル

中学生体験ツアーのホームステイ先であるパハン州からダンサー9人と随行者3人が来豊しました。

一行は、主としてパハン州の観光を啓発するため来日し、富山市、大垣市を経由しての訪問となりました。

8月8日(月)午後6時からカラオケ「ホーワン」で74人が参加して交流会を開催しました。短い時間でしたが、マレーシアのあでやかな衣装と魅力的なダンスを楽しみ、友情の輪を広めました。



交流会でマレーシアの民族衣装を披露してくれました。

国内旅行・海外旅行

お問い合わせ、申込みは
旅行の総合デパートを目指す
当社へ是非お願いします

(株)トラベル東海

豊川市三蔵子町一里塚41-4
(0533) 84-7115(代)

趣味の民芸・土産・造花フラワー店



(株)林電工



恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 ☎(0533)85-9977

INFORMATION

■ 外国語講座受講生募集

次の要領で3講座を開催します。応募締め切りはいつでも12月15日(木) 開催場所は勤労福祉会館、受講料は会員4,000円、一般6,000円(テキスト代込み)です。受講希望の方は電話にて協会事務局へお申込みください。定員を超えた場合は抽選です。

ボランティア通訳講座

期 間 平成18年1月13日～3月17日 毎週金曜日

時 間 午後1時30分～3時

定 員 20名

スペイン語初級

期 間 平成18年1月13日～3月17日 毎週金曜日

時 間 午後7時30分～9時

定 員 20名

ブラッシュアップ英会話(中級者向け)

期 間 平成18年1月16日～3月20日 毎週月曜日

時 間 午後7時30分～9時

定 員 25名

■ ワールドフェスティバル2005

年末恒例のワールドフェスティバルを開催します。ブラジル、ペルー、中国など、世界各国の歌と踊りを主体とした交流会です。なお、現在今年のワールドフェスティバルに関するみなさんの提案を募集しています。ご意見のある方は協会事務局までお知らせください。

日 時 12月11日(日) 午後1時～4時

場 所 勤労福祉会館大研修ホール

参加費 大人(高校生以上) 500円

子供(小・中学生) 300円

小学生未満 無料

申込み 12月2日(金)までに電話で、氏名・電話番号・大人か子供かを協会事務局へお知らせください。

■ 節分交流会

今春新規事業として開催し好評だった節分交流会を来年も開催します。豆まき、ゲーム、講話などを予定しています。

日 時 平成18年2月5日(日) 午後2時～

場 所 勤労福祉会館 和室「さつき」

参加費 300円

定 員 60人

申込み 平成18年1月27日(金)までに電話で、氏名・電話番号を協会事務局へお知らせください。

揚げバナナレシピ

7ページの「ベトナムってどんな国」の中で出されたベトナムの代表的なお菓子、揚げバナナのレシピを紹介します。

材料(作りやすい分量)

衣{ ▼小麦粉 1kg ▼砂糖 300g ▼ベーキングパウダー 大さじ1 ▼オリーブオイル 適宜
▼水 適宜 ▼あれば米粉かとうもろこし粉を100g程度加えると衣がパリッとする ▼揚げ油 }
バナナ 適宜 (ベトナムでは主に熟していない青いバナナを用いる)

ソース{ ▼ココナッツミルク粉 ▼水 }

作り方

- 1 衣の材料をすべて合わせて、てんぷら衣ぐらいにし、30分ほど寝かせる。少量で作る場合は小麦粉1kgに対し砂糖300gの割合になるように調整する。
- 2 バナナは1本を2分の1から4分の1に切る。
- 3 バナナに1の衣を付け、180℃の揚げ油で2～3分、てんぷらの要領で茶色になるまで揚げる。
- 4 ソースを作る。ココナッツミルク粉を水で溶き、弱火にかけて練る。水溶き片栗粉を加えてとろみをつける。好みでごまを混ぜる。
- 5 3のバナナに4のソースをかけてどうぞ。



豊かなくらしのお手伝い



豊川信用金庫

本店 豊川市末広通3丁目34番地の1 ☎(0533) 89-1151(代)